

「病院の実力」(精神科)で当院の治療実績が掲載されました

(読売新聞：平成 24 年 6 月 3 日)



～青森編 53

精神科

今回の「病院の実力」は、精神科の治療実績を取り上げた。統合失調症、うつ病、不安障害、アルコール依存症など、様々な精神疾患が治療対象だ。

「新規患者数」は、2011年に初診で来院した外来と入院の精神科患者数。病床がない医療機関は、外来患者のみの数となる。

「抗精神病薬の単剤化率」は、統合失調症の幻聴や妄想

家族単位の治療も

病院の実力「精神科」

医療機関別2011年治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	新規患者数 (人)	抗精神病薬 の単剤化率 (%)	うつ病の認 知行動療法	統合失調症 のSST	依存症の家 族療法
県立中央	846	—	○		
青森 十和田市立中央	713	60	○	○	○
弘前大	640	—	○		
むつ総合	440	30	○	○	
県立つくしが丘	91	60	○	○	○
岩手 国・花巻	633	—	○	○	○
県立南光	411	46		○	○
秋田大	747	63			
秋田 大館市立総合	423	—		○	
県立リハ・精神	344	68	○	○	○
秋田緑ヶ丘	247	27			
協和	183	—			

「国・」は国立病院機構、「リハ」はリハビリテーション。「—」は無回答または不明。「○」は2011年に実施した精神療法

を抑える抗精神病薬を、1種類だけ使う入院患者の割合。この割合が高い医療機関は、慎重な投薬を行っている傾向がある。外来患者の単剤化率を回答した医療機関も一部ある。

「認知行動療法」は、患者

の物の考え方や受け止め方の癖を、医師や心理士との面接を通して修正する精神療法。通常は1回30分以上、十数回〜20回程度行う。うつ病にこの治療を行ったかどうかを表に示した。

「SST」は、病気で低下

したコミュニケーション能力などを向上させる方法。「目を合わせて話す」「手を使っ て表現する」など会話のコツを練習し、金銭管理や適切な服薬法など、日常生活に不可欠な技能を取り戻す。統合失調症への治療実績を表に示した。

「家族療法」は、患者本人だけが治療を受けるのではなく、家族を一つの単位とみて治療を進める方法。カウンセリングで家族に病気の知識を深めてもらい、家族関係の修復などにつなげる。依存症にこの治療を行ったかどうかを示した。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は7月1日「医療安全」の予定です。

主な医療機関の精神科治療実績

①新規患者数(人) ②抗精神病薬の単剤化率(%)
③うつ病の認知行動療法 ④統合失調症のSSIT
⑤依存症の家族療法 (いずれも2011年実績)

Table with columns for medical institutions and their performance metrics (①-⑤). Includes entries for various regions like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.